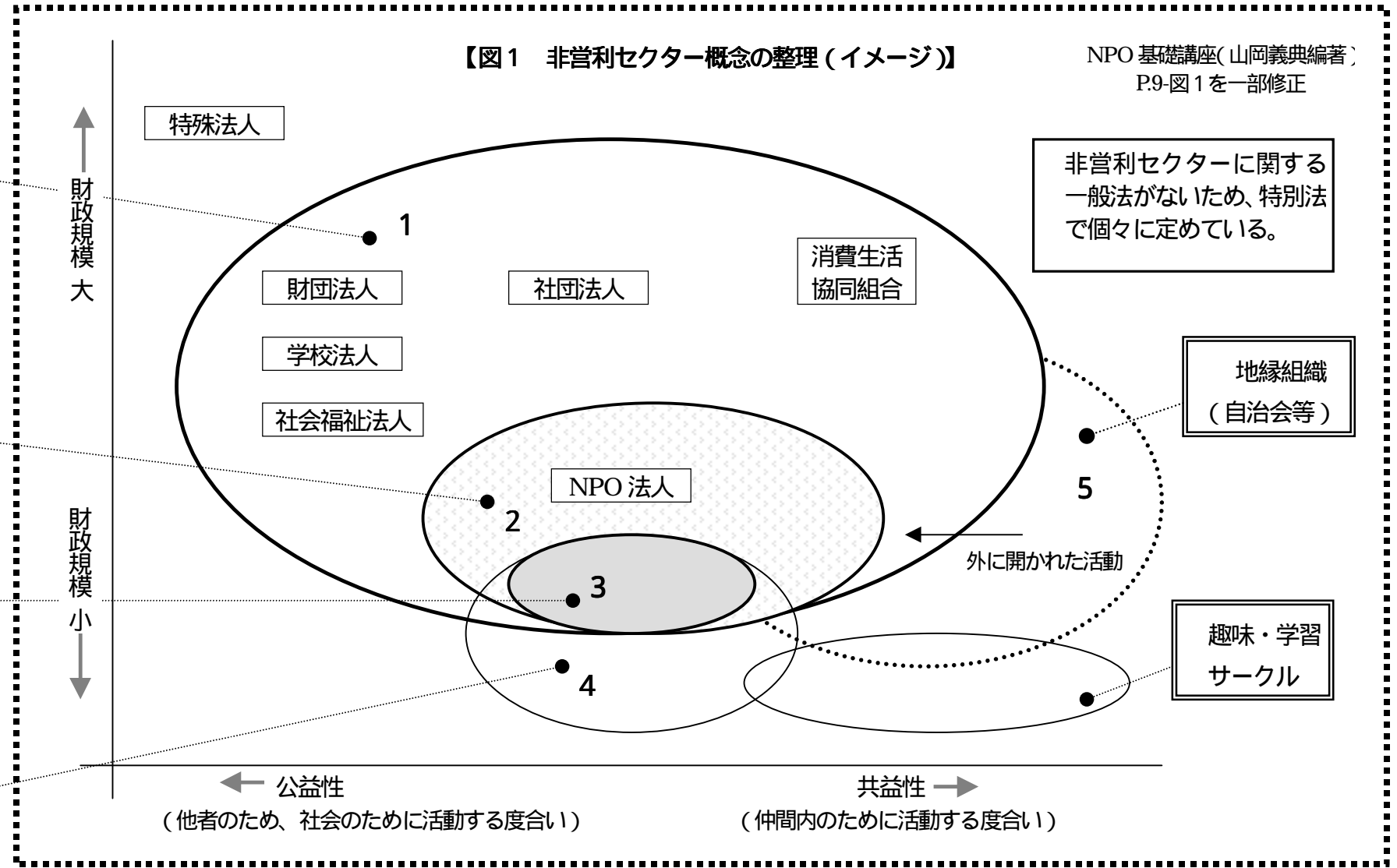


# 基本的概念の整理

【図1 非営利セクター概念の整理（イメージ）】

NPO 基礎講座(山岡義典編著)  
P.9-図1を一部修正



**1. NPO (Non-Profit Organization): 民間非営利組織**

- ・「非営利」の概念：無報酬を意味するものではなく、一定の利益をあげても儲かった利益を関係者で配分しない、という考え方。
- ・アメリカの文化、法人制度、税制優遇制度を背景に生まれてきた言葉。
- ・規模の大きなものから小さなものまで、公益性の高いものから共益性の高いものまで含む大きな概念。
- ・要件として、「公益性、正規の組織、非政府性、非営利性、自己統治性、自発性」があげられる。

**2. 市民活動団体**

- ・市民活動を行う団体で、市民一人ひとりに基盤をもった NPO。
- ・法人格のない任意団体と法人（NPO 法人等）の両者を含む。
- ・専従・有給スタッフの存在。

**3. ボランティア団体**

- ・市民活動団体の一部。
- ・ボランティアが無償で働いている団体。専従スタッフ無。

**4. ボランティア・グループ（サークル）**

- ・組織としての形式を整えていないもの。
- 【組織としての形式】：規約がある、代表者がいる、運営の主体がはっきりしている、人が変わっても組織の同一性を失わない。

**NGO (Non-Governmental Organization): 非政府組織**

- ・国連から出てきた言葉。
- ・NPO との違いは、営利を目的としないことを強調するか（NPO）、政府でないことを強調するか（NGO）。
- ・日本では、海外協力団体や国際交流団体など、国境を越える活動をしている団体に対してよく使われる。

**ボランティア活動**

- ・個人が自発的に原則無償で行う社会貢献活動。
- ・個人の「思い」によって支えられている。
- ・救貧 お互いに支え合う 自己実現

**5 NPO と自治会**

- ・自治会は共益性が強い相互扶助組織であり、組織そのものは NPO ではない。
- ・自治会を基にして環境を守る運動やまちづくり活動など外に開かれた活動を自発的に行う場合は、NPO の枠に入ってくる。

**市民活動（市民公益活動、市民社会活動）**

- ・市民が自発的・自立的に行う営利を目的としない社会貢献活動。
- ・市民一人ひとり又は市民意識によって支えられているもので、参加が開かれている活動。
- ・社会的使命（ミッション）を優先し、ゆるやかな社会変革の中心的な役割を果たす。
- ・行政が協働する対象としては、政治活動や宗教活動を主たる目的とするものや、特定の公職の候補者・公職にある者・政党を推薦・支持・反対する活動は除く。

**NPO とボランティア（団体）**

NPO	ボランティア
組織	個人
非営利	原則無償性
組織性、継続性	個人的自発性
NPO を支える要素としてボランティアがある	

NPO	ボランティア団体
専従・有給スタッフ有	専従スタッフ無